

地歴部模試日本地理 解答

解答

大問 1

問 1 ①:地図エ、②:地図イ

(2 点)

問 2 ③:イ、④:ア

(完答 4 点)

問 3

⑤:製造時に大幅に体積が小さくなる

(4 点)

⑥:原料は冷蔵して、製品は冷凍して輸送される

(4 点)

問 4

⑦:多量の二酸化炭素が生じる

(4 点)

問 5 ウ

(2 点)

問 6

製造されてから時間が経過すると固まってしまい使うことができなくなる

(6 点)

問 7

アスファルト、ガラス、半導体、研磨剤など

(2 点)

大問 2

問 1 石狩平野は泥炭地で気候も比較的寒冷であり稲作には向いていなかったが、客土で土壌を改良した寒さに強いイネの品種を開発することで、稲作が盛んになった。十勝平野や根釧台地は土壌が主に火山灰由来の土で農業には向いていなかったが、十勝平野の一部では土壌を改良することにより夏と冬の寒暖差を利用したじゃがいも、小麦、てんさい、豆などの四輪作が行われている。根釧台地や十勝平野の一部は夏も霧などの影響により冷涼なため、稲作や畑作には適しておらず、酪農や畜産が基幹産業となっている。

(15 点)

問 2 海から水蒸気が放出されにくくなり、また海面が白い流氷に覆われ太陽の熱を吸収しづ

らくなるため、晴れて放射冷却が発生し気温が下がる。

(5 点)

問3 季節風によって運ばれる南からの空気が日本海流に暖められ暖かく湿った空気となり、続いて千島海流に冷やされ発生した霧が太平洋岸の釧路に押し寄せるため夏に霧が多い。

(5 点)

問4 空知地方には炭鉱が位置しておりかつて石炭の生産で栄え人口も増えたが、石炭産業の衰退に伴い人口が減少した。

(5 点)

問5 大雪山系からの雪解け水が年月をかけて大量の地下水となり麓まで流れてきたものをそのまま使用できるから。

(5 点)

問6

(1)

リモートワークの普及によりパソコン需要が増大、また電気自動車の製造も急拡大したために半導体の需要が大幅に増加、更に中国は旧世代を含むあらゆる種類の半導体について国産化を目指しており、これらにより半導体製造装置の需要が急拡大したため。

(12 点)

(2)

再生可能エネルギーによる発電に適した地域は人口が希薄な地域が多く送配電設備が不十分なため、大電力を送電できるよう設備の強化が必要である。

(8 点)

(3)千歳市

(3 点)

大問3

A 小出

B 新潟

C 相川

D 高田

(1つ3点)

論述採点基準

大問2

問1

石狩平野

稲作 2 点

客土 1 点

品種改良 1 点

十勝平野

畑作（四輪作）3 点（四輪作なかったら-1 点）

酪農畜産 2 点

土壌改良 1 点

寒暖差 1 点

根釧台地

痩せてる 1 点

寒い 1 点

酪農畜産 2 点

問 2

水蒸気で熱移動 1 点

白いから熱反射 1 点

晴れて放射冷却 1 点

気温下がる 2 点

問 3

夏 2 点

季節風（南風）1 点

暖かく湿った空気が千島海流に冷やされる 2 点

問 4

炭鉱のことをかけていたら OK

（5 点）

問 5

地下水や湧き水のことが書けていたら OK

（5 点）

問 6

（1）

リモートワーク、自動車、旧世代、国産なければ 0 点

リモートワークでパソコン需要増 4 点

電気自動車製造拡大 4 点

半導体国産化による需要増加 4 点

（2）

人口希薄地域が多い 3 点

送配電設備が不十分 2 点

設備強化 3 点